

認知したいじめを速やかに解消した事例9（高等学校第1学年女子） ～安全・安心ネットワーク『24時間の校内相談メール』による取組～

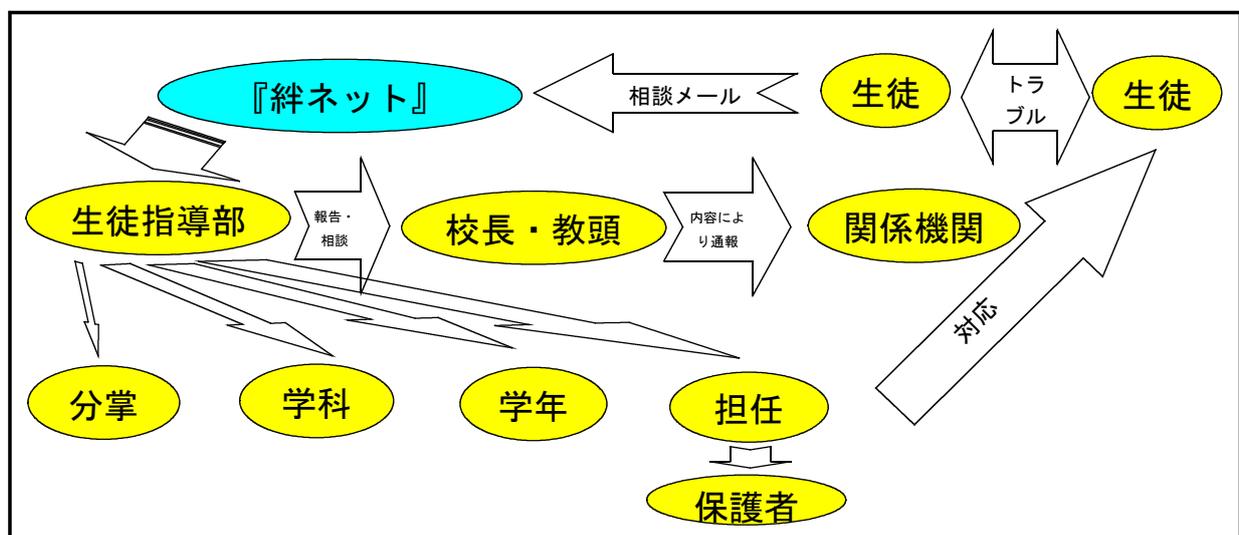
問題の把握

嫌がらせを受けている生徒から教員へのメールによる相談を受け、加害生徒になりうる生徒に聞き取り、いじめに発展する前に生徒と先生との協力で解決できた。

対応状況

- 関係図及び対応図

『24時間の校内相談メールの仕組み』



相談メール受付

状況の把握

対応の検討

対応

事後の対応
・未然防止

◆学年団等と生徒指導部で連携しながら状況を把握。内容によっては警察に通報

◆学年団と生徒指導部で連携しながら指導方針を決定

◆生徒指導部、学年団等を中心に関係生徒への面談指導等を実施

◆全教職員で生徒の観察の継続、適宜面談の実施、全体への啓発

- ・生徒が安全・安心を脅かされる状況（いじめ、体罰、DVなど）にあると感じた場合は、相談メールを送信する。
- ・生徒からの相談内容は秘密厳守。
- ・匿名のメールには対応しない。
- ・相談メールをきっかけに必要な応じ、教員が協力して個別に対応する。相談メールの内容によっては、連携している警察に通報する。

いじめの問題を速やかに解消するためのポイント

- ・生徒間で解決できないことは先生（大人）に相談する環境をつくる。
- ・家庭・地域を巻き込んだ活動に発展させる。